

令和7年10月15日（水）、土岐市立土岐津小学校で4年生を対象に、社会科学習の一環として「児童自らが体験・考える機会を通じて体系的に防災を学べる講座」を実施しました。児童が水害を自分事として捉えられるよう、水害リスクをハザードマップで確認し、どこに避難すべきかをその場で考えてもらいました。また、学校近くにある聖牛の歴史や役割を説明し、流域治水との関わりについても紹介しました。

参加者：土岐津小学校の4年生

流れ	1.土岐川・庄内川流域ってどんなところ？ 2.土岐川と水害の危険性 3.みんなでとりくむ「流域治水」 4.土岐市を守る聖牛
活用資料	・国土交通省 防災ポータル映像 ・東海豪雨の資料 ・庄内川ポータルサイト 副読本資料、流域治水検定 ・重ねるハザードマップ
実施内容	・「1. 土岐川・庄内川流域ってなに？」では、岐阜県を流れる土岐川を中心に川の利用について紹介。また、動画を用いて流域とは何かを説明。 ・「2. 土岐川と水害の危険性」では、重ねるハザードマップを用いて、土岐津小学校周辺の水害リスクについて説明し、実際に水害リスクを見てどこに避難したほうがいいかを考える簡単なワークの実施し、土岐市で実際に発生した水害についても説明。 ・「3.みんなでとりくむ流域治水」では、様々な機関で取り組みを行っていることや、自分たちで取り組める流域治水について説明。 ・「4.土岐市を守る聖牛」では、土岐津小学校のすぐ近くにある伝統的水制工の「聖牛」について詳しく説明し、現代の流域治水とも結びつくことを紹介。



▲ 講座内の流域治水検定に積極的に解答する児童の様子



◀ 講座を聞きながら熱心にメモを取る児童の様子